

「空中写真要図」(大阪大学文学研究科人文地理学教室蔵) 目録

外邦図研究グループでは、平成 13 年度より国内・国外の諸機関に残されている外邦図の所蔵状況について調査を進めてきた。2002 年夏には、久武哲也氏(甲南大)と今里悟之氏(当時阪大文学研究科、現在大阪教育大)により、アメリカの諸機関における外邦図の所蔵調査がおこなわれた(今里・久武、2003)。これに際し、アメリカ議会図書館(ワシントン)では、大量の外邦図とともに日本軍撮影と考えられる空中写真が所蔵されていることが明らかになった。当時の景観の記録として、空中写真にはすぐれた点が多く、2003 年夏には、長澤良太氏(鳥取大)と今里氏がこの空中写真のかなりの部分(723 枚、中国安徽省・江蘇省)をスキャンして帰国し、現在この予備的な研究が開始されている(今里・長澤・久武、2004、長澤・今里・渡辺、2004)。

元陸地測量部員であった高木菊三郎によれば、旧日本軍は国外において広範囲に空中写真を撮影したという(高木著・藤原編、1992、281 - 282 頁)。ただし、具体的にどの地域を撮影したものなのかについては十分に解明されていない。そこで、この点を解明するため、空中写真の探索とあわせて、外邦図のなかにみられる、空中写真によって作製された地図(空中写真要図)を収集し、その目録を作製する作業を開始した。まず、古書店のカタログに見える空中写真によって作製されたと判断できる地図を購入し、つぎに、これらについて一枚一枚目録カードを作製しリスト化した。購入した地図の書誌情報については、すでに大阪大学附属図書館の検索システム(OPAC)に入力済みで、Web 上で検索することが可能である。

以下では、購入した空中写真要図(大阪大学人文地理学研究室蔵)のリストを掲載するとともに、作業過程で知り得た空中写真要図作製の概要に関する知見もまじえて、若干の解説を加えたい。

なお、これらの空中写真要図の多くは、東北大学(東北大学大学院理学研究科地理学教室、2003)および京都大学(近日刊行予定)の目録にも見出すことができる。さらに、これら 3 機関に国土地理院蔵の『国外地図目

録』・『国外地図一覧図』(1953 年)の目録を加えた空中写真要図の目録およびその図化範囲については、「アジア太平洋地域における旧日本軍の空中写真による地図作製」と題して発表済みである(小林・渡辺・鳴海、2004)。ただし、その中に添付した空中写真要図の目録は、地図群として整理したため、一枚一枚の地図の書誌的情報については明記していない。そこで、大阪大学人文地理学教室の所蔵分については、一枚一枚の地形図について目録を作製した。

下表は、2002 年 4 月以降、第一書房および臨川書店より購入した空中写真要図の目録である。その総数は、2005 年 2 月時点で 151 枚におよぶ。地域的には支那・フィリピン・ボルネオ・インド・パプアニューギニアといったアジア・太平洋地域にわたっている。作製時期をみると、多くは第二次世界大戦参戦後であるが、旧満州、黄河沿岸、陝西省、上海近傍などは、参戦以前に作製されたものである。縮尺については、「空中写真測量要図(圖化満航)」という表題をもつ図は、1 万～1.5 万分の 1 と大縮尺であり、これら以外は 2.5 万～10 万分の 1 で作製されている。なお、この「満航」は「満州航空」の略で、国策会社として、旧日本軍の空中写真による地図作製に大きな役割をはたした(西尾、1969、132～135 頁、満州航空史話編纂委員会、1972、小島、1991 など)。つぎに製作者をみると、陸地測量部が多いが、支那派遣軍や威第一一六〇部隊といった出先の部隊が作製している場合も少なくない。これは空中写真による地図作製が恒常化すると、出先の部隊が自らで地図作製をおこなったことを示唆しており、その組織や陸地測量部との関係が注目される。

怒江、インド、セレベス・モルカ、パプア、ボルネオの地図には、図郭の四隅に経緯度が記載されている。一般に経緯度を記入するには、地表での三角測量のような作業が不可欠である。また、現地での測量作業が困難であったと考えられるケースでは、既成の外国製地形図に記載されている経緯度を参照した可能性が高い。

ところで、大阪大学人文地理学教室蔵の空中写真要図のなかには、東北大学および京都大学に所蔵されていない空中写真要図も存在する。

1943年撮影の中国雲南省の怒江(5万分の1)と題する7枚は、その1つである。これらは、いわゆる「援蒋ルート」を遮断する作戦に関係し、作製主体の威第1160部隊とは、南方軍を示している(秦編、1991、501頁)。このなかで「恵通橋」と題する地図は、「援蒋ルート」のなかで要に位置する恵通橋を中心として、怒江(サルウィン川上流)の峡谷の兩岸を図示している。橋は日本軍の進撃にともない1942年5月に破壊されるが、雲南遠征軍(連合軍)の攻勢にともない、1944年7月に再建された。その前後には、橋の南西側にあった日本軍の守備陣地をめぐる激戦がおこなわれた。ただし、この製図の年・月からみると、この図は戦場では使用されなかった可能性が高い(本ニューズレターの7. 展示、大阪大学総合学術博物館、第3回企画展の展示資料「恵通橋」を参照)。

1942年撮影の東インドのガウハティ・ポルダムギリ間と題する15枚およびシルガード・ミメシン間の31枚も他大学にはない地図群である。両者は、縮尺が5万分の1で、経緯度が記載されている。「南方仮図式」を採用しており、鉄道・道路・工場地・小物体・地類と5つに大別され、凡例は23種類ある。前者はガウハティとポルダムギリの都市間を結ぶ道路沿いに作製され、一部は「印度六万三千分一図」を利用している。これは、イギリス製図であると考えられ、地名・標高は主としてこの図に依拠していることが備考に明記されている。経緯度も同様であろう。雲によって一部空白になっている図幅が多いものの、森林に関する情報は豊富で、「沙羅双樹林」や「混交密林」などといった程度まで分類されている。60年以上前の環境を知る上でも興味深い資料である。

後者は、図幅群のなかでもっとも一連の枚数が多い。地名・標高は主として「印度六万三千分一乃至二十五万分一図」に依拠している。ただし、標高・地名の記載は部分的であり、雲により不明確な部分も散在する。その場合は、道路のみ点線で記入している。図幅の多くが、「印度二十五万分一図」をモザイク状に利用しており、一図幅の半分以上がこれに依拠している場合も少なくない。シルガードとミメシン地点間を道路沿いに総

計31枚でカバーしている。

旧日本軍の空中写真測量は、1921年に陸軍航空学校の分校として開設された下志津飛行学校の果たした役割が大きい(生田編ほか、1986:87)。同校は、1924年に独立した偵察を専門とする飛行学校であり(船越、1992)、作戦計画を作成するために、各地の飛行偵察が命じられた。その飛行学校隊員の回顧記録によれば、1938年頃、「隠密搜索作戦作業」が実施され、広大な地域写真を撮影することが指示されたという(生田ほか編、1986:87)。1941年の8月にはフィリピンのパターン半島の撮影が行われた。これに座標を与えたものを重砲部隊と観測部隊の両者が持ち、上空からの射撃に用いたという。

第二次世界大戦参戦(1941年12月)の直前には、シンガポールからマレーシアのアロールスターを經由し、さらに西延のビルマ、カルカッタ西部、ランチ・カタックへと飛行したことが述べられている。大阪大学人文地理学教室蔵のものにはないが、前述の国土地理院蔵の目録には、同年に下志津飛行学校によって作製された「呂宋島」(1941年撮影・10万分1)および「ソクラー及アロールスター間」(1943年撮影・10万分1)と題する図幅が確認でき、回顧記録と整合する(小林・渡辺・鳴海、2004)。この流れで、インドのランチ・カタックに至る途中のガウハティ・ポルダムギリ間およびシルガード・ミメシン間を撮影した可能性は高く、撮影時期も合致する点は興味深い。

以上の空中写真要図は、作製時期や地域によって記載内容は多種多様であり、その図式は図群ごとに異なる。ただし、空中写真要図の作製がいかなる機構で、どのように行われたかについては不明な点が多く、今後解明すべき課題として位置づけられる。

本報告で紹介した大阪大学人文地理学教室蔵の空中写真要図は、コレクションとしては小規模なものであるが、希少性の高いものや、過去の景観を伝える環境資料としての利用に耐えうるものなども少なくない。今後、これらが多くの方の利用に供することを期待したい。

なお、下表の作製にあたっては、富岡玲子(平成16年度大阪大学文学部人文地理学教室卒業生)の尽力が大きい。

(渡辺理絵(大阪大・院))

文献

生田 惇ほか編『下志津飛行学校物語 - 陸軍偵察飛行隊回顧 - (座談会記録)』偕行(3 回連載, ただし別刷りによるため巻号は不明), 1986; 87, 別刷り資料全 34 頁.

船越昭生(1992)「続・戦前日本空中写真抄史」(武久義彦編『空中写真判読を中心とする歴史景観の分析手法の確立』奈良女子大学文学部地理学教室) 48 - 54 頁.

秦 郁彦編(1991)『日本陸海軍総合事典』東京大学出版会.

今里悟之・久武哲也(2003)「在アメリカ外邦図の所蔵状況 - 議会図書館・AGS Golda Meir 図書館・ハワイ大学ハミルトン図書館の調査から」『外邦図研究ニュースレター1』33 - 36 頁.

今里悟之・長澤良太・久武哲也(2004)「アメリカ議会図書館所蔵の旧日本軍撮影・中国空中写真の概況」『外邦図研究ニュースレター2』78 - 80 頁.

小島宗治(1991)『航空測量私話 - 空と写真と戦いと』私家版.

小林茂・渡辺理絵・鳴海邦匡(2004)「アジア太平洋地域における旧日本軍の空中写真による地図作製」待兼山論叢第 38 号日本学篇, 1-24 頁.

高木菊三郎著・藤原彰編(1992)『外邦兵要地図整備誌』不二出版.

満州航空史話編集委員会編(1972)『満州航空史話』満州航空史話編集委員会.

長澤良太・今里悟之・渡辺理絵(2004)「旧日本軍撮影の空中写真の特徴とその利用可能性」『日本地理学会発表要旨集』66, 66 頁.

西尾元充(1969)『空中写真の世界』中公新書 186.

東北大学大学院理学研究科地理学教室(2003)『東北大学所蔵外邦図目録』東北大学大学院理学研究科地理学教室.

空中写真要図(大阪大学文学研究科人文地理学教室蔵)目録

地方	タイトル	撮影	測量	製図 1	作成主体	縮尺 2	寸法(cm)	色	経緯度	
中国	同江附近國境要図其一		1934	1935版	参謀本部	2.5	108.5*78.5	黒		
	同江附近國境要図其二		1934	1935版	参謀本部	2.5	108.5*78.5	黒		
	同江附近國境要図其三		1934	1935版	参謀本部	2.5	108.5*78.5	黒		
	同江附近國境要図其四		1934	1935版	参謀本部	2.5	108.5*78.5	黒		
	同江附近國境要図其五		1934	1935版	参謀本部	2.5	108.5*78.5	黒		
	同江附近國境要図其六		1934	1935版	参謀本部	2.5	108.5*78.5	黒		
	虎林附近國境要図其一		1934	1935版	参謀本部	2.5	108.5*78.5	黒		
	虎林附近國境要図其二		1934	1935版	参謀本部	2.5	108.5*78.5	黒		
	虎林附近國境要図其三		1934	1935版	参謀本部	2.5	108.5*78.5	黒		
	要圖(空中寫眞測量)北支那十方分一圖 開封七號尉氏	1942.8	1942.11			北支那方面軍参謀部測量班 作成	10	39*54.6	黒	
	要圖(空中寫眞測量)北支那十方分一圖 徐州十九號亳縣	1942.8	1942.11			北支那方面軍参謀部測量班 作成	10	40*54.9	黒	

中国	要圖(空中寫真測量)北支那十萬分一圖 開封十一號鄭州	1942.8	1942.11		北支那方面軍參謀部測量班 作成	10	38.9*54.6	黑	
	要圖(空中寫真測量)北支那十萬分一圖 開封十二號新鄭	1942.8	1942.11		北支那方面軍參謀部測量班 作成	10	39.9*54.7	黑	
	要圖(空中寫真測量)北支那十萬分一圖 開封十六號汜水	1942.8	1942.11		北支那方面軍參謀部測量班 作成	10	39*54.7	黑	
	要圖(空中寫真測量)北支那十萬分一圖 開封六號開封	1942.8	1942.11		北支那方面軍參謀部測量班 作成	10	40*54.6	黑	
	要圖(空中寫真測量)北支那十萬分一圖 開封十四號臨潁	1942.8	1942.11		北支那方面軍參謀部測量班 作成	10	40*54.7	黑	
	要圖(空中寫真測量)北支那十萬分一圖 開封九號逍遙鎮	1942.8	1942.11		北支那方面軍參謀部測量班 作成	10	38.9*54.8	黑	
	要圖(空中寫真測量)北支那十萬分一圖 開封十五號舞陽	1942.8	1942.11		北支那方面軍參謀部測量班 作成	10	40*54.6	黑	
	要圖(空中寫真測量)北支那十萬分一圖 開封三號太康	1942.8	1942.11		北支那方面軍參謀部測量班 作成	10	39*54.6	黑	
	要圖(空中寫真測量)北支那十萬分一圖 廬州二十一號沈邱	1942.8	1942.11		北支那方面軍參謀部測量班 作成	10	39.2*54.5	黑	
	要圖(空中寫真測量)北支那十萬分一圖 信陽一號項城	1942.8	1942.11		北支那方面軍參謀部測量班 作成	10	39.9*54.8	黑	
	要圖(空中寫真測量)北支那十萬分一圖 徐州二十三號柘城	1942.8	1942.11		北支那方面軍參謀部測量班 作成	10	39.1*54.7	黑	
	要圖(空中寫真測量)北支那十萬分一圖 徐州二十四號鹿邑	1942.8	1942.11		北支那方面軍參謀部測量班 作成	10	40.1*54.7	黑	
	要圖(空中寫真測量)北支那十萬分一圖 開封四號淮陽(陳州)	1942.8	1942.11		北支那方面軍參謀部測量班 作成	10	39*54.6	黑	
	要圖(空中寫真測量)北支那十萬分一圖 開封十號上蔡	1942.8	1942.11		北支那方面軍參謀部測量班 作成	10	39*54.7	黑	
	要圖(空中寫真測量)北支那十萬分一圖 徐州二十號原牆集	1942.8	1942.11		北支那方面軍參謀部測量班 作成	10	39.8*54.6	黑	
	假製五萬分一黃河沿岸空中寫真測量要 圖狂瀾鎮	1938.4	1939	1939.12癸	陸地測量部 參謀本部	5	46*58	黑	
	假製五萬分一黃河沿岸空中寫真測量要 圖坡頭鎮	1938.4	1939	1939.12癸	陸地測量部 參謀本部	5	46.1*58	黑	
	五萬分一空中寫真測量要圖蕪湖六十一 號太平	1939.12	1941	1941.3癸	陸地測量部 參謀本部	5	46*57.8	黑	
	五萬分一中支空中寫真測量要圖蕪湖六 十七號石山舖	1939.3	1940.1	1941.2癸	陸地測量部 參謀本部	5	46.2*57.9	黑	
	要圖(空中寫真測量)中支那五萬分一安 徽江西省境東流景德鎮地方七號(共二 十三面)湖湖街	1938.3- 11	1941	1941.7癸	陸地測量部 參謀本部	5	46*58.8	黑	
	五萬分一黃河沿岸空中寫真測量要圖磁	1938.4	1939		陸地測量部 參謀本部	5	46.1*58.1	黑	
	五萬分一黃河沿岸空中寫真測量要圖陝	1938.4	1939		陸地測量部 參謀本部	5	46*58	黑	
	五萬分一黃河沿岸空中寫真測量要圖白	1938.4	1939		陸地測量部 參謀本部	5	46*58.2	黑	
	五萬分一黃河沿岸空中寫真測量要圖段	1938.4	1939		陸地測量部 參謀本部	5	46*58.1	黑	
	空中寫真測量要圖(圖化滿航)約一萬五 千分一慶元近傍			1943.7調	支那派遣軍參謀部調製	約1.5	42.5*50.4	黑	
	空中寫真測量要圖(圖化滿航)約一萬五 千分一梁山近傍			1943.6調	支那派遣軍參謀部調製	約1.5	37.3*47.8	黑	
	空中寫真測量要圖(圖化滿航)約一萬五 千分一? 江近傍			1943.6調	支那派遣軍參謀部調製	約1.5	48.4*43	黑	
	空中寫真測量要圖(圖化滿航)約一萬五 千分一秀山近傍			1943.7調	支那派遣軍參謀部調製	約1.5	39.9*31.1	黑	
	空中寫真測量要圖(圖化滿航)約一萬五 千分一遵義近傍			1943.7調	支那派遣軍參謀部調製	約1.5	35.9*45.1	黑	
	空中寫真測量要圖(圖化滿航)一萬分一 黔江近傍			1943.6調 1943.6刷	支那派遣軍參謀部調製 支 那派遣軍測量班製版印刷	1	51.1*61.1	黑	
	空中寫真測量要圖(圖化滿航)一萬分一 蕪縣近傍			1943.6調	支那派遣軍參謀部調製	1	42.8*50.5	黑	
	空中寫真測量要圖(圖化滿航)約一萬五 千分一貴陽近傍			1943.6調	支那派遣軍參謀部調製	約1.5	46.3*60	黑	
	空中寫真測量要圖(圖化滿航)一萬分一 南川近傍			1943.6調	支那派遣軍參謀部調製	1	32.6*46.5	黑	
	空中寫真測量要圖(圖化滿航)一萬分一 恩施近傍			1943.6調 1943.6刷	支那派遣軍參謀部調製 支 那派遣軍測量班製版印刷	1	53.7*47	黑	
	空中寫真測量要圖(圖化滿航)一萬分一 梓潼近傍			1943.6調 1943.6刷	支那派遣軍參謀部調製 支 那派遣軍測量班製版印刷	1	48*53.4	黑	
空中寫真測量要圖(圖化滿航)一萬分一 ? 州近傍			1943.6調 1943.6刷	支那派遣軍參謀部調製 支 那派遣軍測量班製版印刷	1	58.9*46.5	黑		
要圖(十萬分一陝西省空中寫真測量)宣 川七號延水關	1939	1939	1939癸	陸地測量部 參謀本部	10	58.3*46	黑		
要圖(十萬分一陝西省空中寫真測量)宣 川十三號牛武鎮	1939	1939	1940癸	陸地測量部 參謀本部	10	58.3*45.8	黑		
要圖(十萬分一陝西省空中寫真測量)宣 川八號禹王坪	1939	1939	1939癸	陸地測量部 參謀本部	10	45.4*58.3	黑		

中国	要圖(十万分一陝西省空中寫真測量)宣川十四號宣川	1939	1939	1940発	陸地測量部 参謀本部	10	46.2°58.1	黒		
	要圖(十万分一陝西省空中寫真測量)宣川十五號縣川口	1939	1939	1940発	陸地測量部 参謀本部	10	58°45.8	黒		
	二万五千分一空中寫真測量上海近傍南部十七號橫雲山	1932	1937	1937.11版 1937.11.25	陸地測量部 参謀本部	2.5	45.8°57.9	黒・青		
	二万五千分一空中寫真測量上海近傍西北部十三號巴城鎮	1932	1937	1937.11.5発 1937.11.5	陸地測量部 参謀本部	2.5	46°57.5	黒・青		
	二万五千分一空中寫真測量上海近傍南部二十七號乍浦鎮	1932	1937	1937.10版 1937.10.25	陸地測量部 参謀本部	2.5	46°57.8	黒・青		
	二万五千分一空中寫真測量上海近傍西北部九號澆浦鎮	1932	1937	1937.11版 1937.11.5発	陸地測量部 参謀本部	2.5	46°57.5	黒・青		
	二万五千分一空中寫真測量上海近傍西北部十九號夏灘橋	1932	1937	1937.11版 1937.11.5	陸地測量部 参謀本部	2.5	46°57.5	黒・青		
	二万五千分一空中寫真測量上海近傍南部七號馬橋鎮	1932	1937	1937.11版 1937.11.25	陸地測量部 参謀本部	2.5	46.4°57.6	黒・青		
	二万五千分一空中寫真測量上海近傍南部八號?家橋	1932	1937	1937.11版 1937.11.25	陸地測量部 参謀本部	2.5	45.9°58.2	黒・青		
	二万五千分一空中寫真測量上海近傍南部六號柘林鎮	1932	1937	1937.10版 1937.10.25	陸地測量部 参謀本部	2.5	46.1°57.9	黒・青		
	空中寫真測量要圖雲南省五万分一圖怒江一號(共七面)瀟八?	1943.10		1944.4圖	威第一一六〇部隊	5	45.9°57.4	黒	N25°5 E99°5	
	空中寫真測量要圖雲南省五万分一圖怒江二號(共七面)馬通橋	1943.10		1944.4圖	威第一一六〇部隊	5	46.1°57.9	黒	N24°55 E99°5	
	空中寫真測量要圖雲南省五万分一圖怒江三號(共七面)椅子山	1943.10		1944.4圖	威第一一六〇部隊	5	46.1°58.1	黒	N24°45 E99°10	
	空中寫真測量要圖雲南省五万分一圖怒江四號(共七面)栗樹坪	1943.10		1944.4圖	威第一一六〇部隊	5	46.1°58.1	黒	N24°35 E99°10	
	空中寫真測量要圖雲南省五万分一圖怒江五號(共七面)打黑渡	1943.10		1944.4圖	威第一一六〇部隊	5	46.1°58	黒	N24°25 E99°15	
	空中寫真測量要圖雲南省五万分一圖怒江六號(共七面)七道河渡	1943.10		1944.4圖	威第一一六〇部隊	5	46.1°57.9	黒	N24°15 E99°10	
	空中寫真測量要圖雲南省五万分一圖怒江七號(共七面)尖山	1943.10		1944.4圖	威第一一六〇部隊	5	45.9°57.7	黒	N24°15 E95°55	
	インド	要圖(空中寫真測量)東印度シルガード・ミメシ間一號シルガード	1942.9	1943	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	46.1°58.1	黒	N36°40 E98°0
		要圖(空中寫真測量)東印度シルガード・ミメシ間二號サマガリ	1942.10	1942	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	46°58	黒	N26°30 E93°0
		要圖(空中寫真測量)東印度シルガード・ミメシ間三號ナマティ	1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.2°58.2	黒	N26°9 E93°0
要圖(空中寫真測量)東印度シルガード・ミメシ間四號ナウゴン		1942.10	1942	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	46.1°58.2	黒	N26°25 E92°45	
要圖(空中寫真測量)東印度シルガード・ミメシ間五號ラハ		1942.10	1942		陸地測量部 参謀本部	5	46°58.2	黒	N26°15 E92°45	
要圖(空中寫真測量)東印度シルガード・ミメシ間六號グラムタル		1942.9	1943	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	45.9°58	黒	N26°17 E92°30	
要圖(空中寫真測量)東印度シルガード・ミメシ間七號ナコラ		1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.6°58.3	黒	N26°15 E92°15	
要圖(空中寫真測量)東印度シルガード・ミメシ間八號ガウハティ		1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.9°58.1	黒	N26°20 E91°57	
要圖(空中寫真測量)東印度シルガード・ミメシ間九號ディスブル		1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.8°58.2	黒	N26°10 E92°0	
要圖(空中寫真測量)東印度シルガード・ミメシ間十號ノングボ		1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.7°58.2	黒	N26°0 E92°0	
要圖(空中寫真測量)東印度シルガード・ミメシ間十一號ウムスニン		1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.8°58.3	黒	N25°50 E92°0	
要圖(空中寫真測量)東印度シルガード・ミメシ間十二號シロン		1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.7°58.2	黒	N25°40 E92°0	
要圖(空中寫真測量)東印度シルガード・ミメシ間十三號マウフラン		1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.7°58.2	黒	N25°30 E91°52 30	
要圖(空中寫真測量)東印度シルガード・ミメシ間十四號チェルラブンジ		1942.10	1942	1942.10発	陸地測量部 参謀本部	5	44.6°58.2	黒	N25°20 E91°52 30	
要圖(空中寫真測量)東印度シルガード・ミメシ間十五號ラウテ湖		1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.7°58.1	黒	N25°10 E91°52 30	
要圖(空中寫真測量)東印度シルガード・ミメシ間十六號スルヘット		1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.6°58.3	黒	N25°0 E92°0	
要圖(空中寫真測量)東印度シルガード・ミメシ間十七號フェンチュガン		1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.8°58.4	黒	N24°50 E92°5	
要圖(空中寫真測量)東印度シルガード・ミメシ間十八號クラウル		1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.2°58.3	黒	N24°40 E92°10	
要圖(空中寫真測量)東印度シルガード・ミメシ間十九號カマルガン		1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	46.1°58.2	黒	N24°30 E92°05	

	要圖(空中寫眞測量)東印度シルガード・ ミメシ間二十號スリマンガル	1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.7°58.3	黒	N24 ° 25	E91 ° 50
	要圖(空中寫眞測量)東印度シルガード・ ミメシ間二十一號シャイスタガン	1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.8°58.2	黒	N24 ° 20	E91 ° 05
	要圖(空中寫眞測量)東印度シルガード・ ミメシ間二十二號ハラシュブール	1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.7°58.2	黒	N24 ° 10	E91 ° 30
	要圖(空中寫眞測量)東印度シルガード・ ミメシ間二十三號アカウラ	1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.9°58.3	黒	N24 ° 0	E91 ° 20
	要圖(空中寫眞測量)東印度シルガード・ ミメシ間二十四號アゴウタラ	1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.6°58.3	黒	N23 ° 50	E91 ° 20
	要圖(空中寫眞測量)東印度シルガード・ ミメシ間二十五號パイラプザー	1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.4°58.3	黒	N24 ° 5	E91 ° 5
	要圖(空中寫眞測量)東印度シルガード・ ミメシ間二十六號カティアディ	1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.3°58.4	黒	N24 ° 15	E91 ° 0
	要圖(空中寫眞測量)東印度シルガード・ ミメシ間二十七號マイジャテ	1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.8°58.3	黒	N24 ° 25	E91 ° 0
	要圖(空中寫眞測量)東印度シルガード・ ミメシ間二十八號キョルガンジ	1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.9°58.3	黒	N24 ° 25	E90 ° 55
	要圖(空中寫眞測量)東印度シルガード・ ミメシ間二十九號アトラバリ	1942.10	1942	1942.11発	陸地測量部 参謀本部	5	44.8°58.3	黒	N24 ° 45	E90 ° 50
	要圖(空中寫眞測量)東印度シルガード・ ミメシ間三十號ミメシ	1942.9- 10	1943	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	45.9°58.1	黒	N24 ° 50	E90 ° 35
	要圖(空中寫眞測量)東印度シルガード・ ミメシ間三十一號マイラー・カンダー	1942.9	1943	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	46°57.9	黒	N24 ° 55	E90 ° 50
インド	要圖(空中寫眞測量)東印度ガウハティ・ ポルダムギリ間一號ガウハティ西部	1942.9	1943	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	45.8°58	黒	N26 ° 15	E91 ° 50
	要圖(空中寫眞測量)東印度ガウハティ・ ポルダムギリ間二號パスパーリ	1942.9	1943	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	46°58.2	黒	N26 ° 10	E91 ° 35
	要圖(空中寫眞測量)東印度ガウハティ・ ポルダムギリ間三號ランパーラ	1942.9	1943	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	46°58.3	黒	N26 ° 5	E91 ° 20
	要圖(空中寫眞測量)東印度ガウハティ・ ポルダムギリ間四號ティラーパーラ	1942.9	1943	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	46°58.2	黒	N26 ° 5	E91 ° 5
	要圖(空中寫眞測量)東印度ガウハティ・ ポルダムギリ間五號ゴアールパーラ	1942.9	1943	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	46.1°58.2	黒	N26 ° 20	E90 ° 50
	要圖(空中寫眞測量)東印度ガウハティ・ ポルダムギリ間六號クリシナイ	1942.9	1943	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	46°58	黒	N26 ° 10	E90 ° 50
	要圖(空中寫眞測量)東印度ガウハティ・ ポルダムギリ間七號ドゥドナイ	1942.9	1943	-	陸地測量部 参謀本部	5	46°58.1	黒	N26 ° 0	E90 ° 50
	要圖(空中寫眞測量)東印度ガウハティ・ ポルダムギリ間八號ザハーダングリ	1942.9	1943	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	46°58.1	黒	N25 ° 50	E90 ° 45
	要圖(空中寫眞測量)東印度ガウハティ・ ポルダムギリ間九號アギア	1942.9	1943	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	45.8°58	黒	N26 ° 10	E90 ° 35
	要圖(空中寫眞測量)東印度ガウハティ・ ポルダムギリ間十號ラキープル	1942.9	1943	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	46.1°58.2	黒	N26 ° 5	E90 ° 0
	要圖(空中寫眞測量)東印度ガウハティ・ ポルダムギリ間十一號ガウリブル	1942.9	1943	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	45.8°58	黒	N26 ° 10	E90 ° 5
	要圖(空中寫眞測量)東印度ガウハティ・ ポルダムギリ間十二號ファーキールガン	1942.9	1943	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	46.1°58.1	黒	N26 ° 0	E90 ° 5
	要圖(空中寫眞測量)東印度ガウハティ・ ポルダムギリ間十三號パンバラ	1942.9	1943	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	46°58.1	黒	N25 ° 50	E90 ° 5
	要圖(空中寫眞測量)東印度ガウハティ・ ポルダムギリ間十四號ジャーウダーン	1942.9	1943	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	45.9°58.1	黒	N25 ° 40	E90 ° 0
	要圖(空中寫眞測量)東印度ガウハティ・ ポルダムギリ間十五號ポルダムギリ	1942.9	1943	1943.1発	陸地測量部 参謀本部	5	49.2°58	黒	N25 ° 30	E90 ° 0
	フィリ ピン	カガヤン近傍圖第一號 1:50,000 カガ ヤン		1944	1944.9複	尚武一六〇〇部隊 威一五 八八五部隊測量 参謀本部	5	46.7°63.5	黒	
カガヤン近傍圖第二號 1:50,000 ルン ビヤ			1944		尚武一六〇〇部隊 威一五 八八五部隊	5	47°64.9	黒		
ボル ネオ	空中寫眞測量要圖「ボルネオ」十万分一 圖壹参ロー一四タンビサン	1944.8		1944.9圖 1944版	参謀本部	10	46.2°58.3	黒	N5 ° 40	E119 ° 30
	空中寫眞測量要圖「ボルネオ」十万分一 圖壹参ロー一五アアム	1944.8		1944.9圖 1944版		10	46.3°58.2	黒	N5 ° 20	E119 ° 30
	空中寫眞測量要圖「ボルネオ」十万分一 圖壹参ロー一二四セガマ河	1944.9		1944.10圖 1944版	参謀本部	10	49.9°63.2	黒	N5 ° 40	E119 ° 0
	空中寫眞測量要圖「ボルネオ」十万分一 圖壹参ロー一二六マクオ	1944.9		1944.10圖 1944版	参謀本部	10	46.2°58.1	黒	N5 ° 0	E119 ° 0

ボルネオ	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー三六コナック	1944.9	1944.10圖 1944版	參謀本部	10	46.1*58.1	黒	N5°0	E118°30
	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー三三サンダカン	1944.9	1944.10圖 1944版	參謀本部	10	46.2*58.4	黒	N6°0	E118°30
	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー三二ニリ balan 島	1944.8	1944.9圖 1944版	參謀本部	10	46.2*58.1	黒	N6°20	E118°30
	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー二七シンボルナ	1944.9	1944.10圖 1944版	參謀本部	10	46.1*58.1	黒	N4°40	E119°0
	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー四二クラガン河		1944版	參謀本部	10	46.2*58.2	黒	N6°20	E118°0
	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー五一ションプロ灣	1944.9	1944.10圖 1944版	參謀本部	10	46.1*58.1	黒	N6°40	E117°30
	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー五三ノ上クラガン	1944.9	1944.10圖 1944版	參謀本部	10	31.2*57.9	黒	N6°0	E117°80
	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー五二ニリカバウ	1944.9	1944.10圖 1944版	參謀本部	10	46.2*58.1	黒	N6°30	E117°30
	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー六一ランコン	1944.8	1944.9圖 1944版	參謀本部	10	46.2*58.2	黒	N6°40	E117°0
	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー六二キナバル山	1944.9	1944.10圖 1944版	參謀本部	10	46.2*58.2	黒	N6°20	E117°0
	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー六三ノ上ラナウ	1944.9	1944.10圖 1944版	參謀本部	10	31.8*57.8	黒	N6°0	E117°0
	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー四三ラボック河口	1944.9	1944.10圖 1944版	參謀本部	10	57.2*62.9	黒	N6°0	E118°0
	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー四一トルサン	1944.9	1944.10圖 1944版	參謀本部	10	46.2*58.1	黒	N6°40	E118°0
	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー三八ノ上バロン川	1944.9	1944.10圖 1944版	參謀本部	10	31.5*58.1	黒	N4°20	E118°30
	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー五八ノ右シマンガリス川	1944.9	1944.9圖 1944版	威第一一六〇部隊	10	54.2*39.3	黒	N4°20	E117°90
	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー五九ノ右ブラジュ	1944.9	1944.9圖 1944版	威第一一六〇部隊	10	54.2*39.2	黒	N4°0	E117°30
	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー五九バング島	1944.8	1944.9圖 1944版	參謀本部	10	52.4*63.1	黒	N7°20	E117°30
	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー六〇セナジャ	1944.8	1944.9圖 1944版	參謀本部	10	47.2*67.3	黒	N7°0	E117°30
	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー六九バランバガン島	1944.8	1944.9圖 1944版	參謀本部	10	56.1*58.2	黒	N7°20	E117°0
	空中寫真測量要圖「ボルネオ」十万分一圖壹參ロー七〇クダト	1944.8	1944.9圖 1944版	參謀本部	10	46.2*58.2	黒	N7°0	E117°0
セレベス及モルカ	空中寫真測量要圖「ハルマヘラ島」十万分一圖壹イニ四モロタイ島西南部	1944.2	1944圖	空中寫真測量要圖陸地測量部 參謀本部	10	46.5*58.1	黒	N2°20	E128°30
	空中寫真測量要圖「ハルマヘラ島」十万分一圖壹イニ五七ジャイロロ	1944.2	1944圖	空中寫真測量要圖陸地測量部 參謀本部	10	46.3*58.1	黒	N1°20	E127°30
	空中寫真測量要圖「ハルマヘラ島」十万分一圖壹イニ五九テドレ島南部	1944.2	1944圖	空中寫真測量要圖陸地測量部 參謀本部	10	46.5*58.2	黒	N0°40	E127°30
	空中寫真測量要圖「ハルマヘラ島」十万分一圖壹イニ四七トリア山	1944.2	1944圖	空中寫真測量要圖陸地測量部 參謀本部	10	46.8*63.7	黒	N1°20	E128°0
	空中寫真測量要圖「ハルマヘラ島」十万分一圖壹イニ四七トリア山諸島集成圖	1944.4	1944版	參謀本部	10	109.2*78.5	黒	N6°	E128°
バプア	空中寫真測量要圖「東部バプア」十万分一八南ロー四二サウナンブ	1943.8	1943圖	陸地測量部 參謀本部	10	44.8*64.1	黒	S3°40'	E143°0'
	空中寫真測量要圖「東部バプア」十万分一八南ロー二七ワバグ	1943.7	1943圖	陸地測量部 參謀本部	10	45.1*64.1	黒	S5°20'	E144°0'
	空中寫真測量要圖「東部バプア」十万分一八南ロー一五バナロ南部	1943.8	1943圖	陸地測量部 參謀本部	10	45.1*64	黒	S4°40'	E144°30'
	空中寫真測量要圖「東部バプア」十万分一八南ロー二五アウィム	1943.8	1943圖	陸地測量部 參謀本部	10	45.1*64.2	黒	S4°40'	E144°0'
	空中寫真測量要圖「東部バプア」十万分一八南ロー二ニワオセラ	1943.8	1943圖	陸地測量部 參謀本部	10	44.7*64	黒	S30°40'	E143°30'
	空中寫真測量要圖「東部バプア」十万分一八南ロー二ニカンプリンロ	1943.7-8	1943圖	陸地測量部 參謀本部	10	45.1*64.1	黒	S4°0'	E144°0'
	空中寫真測量要圖「セントアンドレウ諸島」集成圖	1944.4	1944版	參謀本部	10	46.1*58.1	黒	N8°0'	E135°0'

1:圖 測圖年・版 製版年・発 發行年・調 調製年・印 印刷年・複 複製年をそれぞれ表す。 2:縮尺の分母を示す。単位は万。